

日本の知恵、  
プラスチックの知恵

# 瓢

# 箆

ひょうたん

## 芭蕉も愛用した、かるき密封容器

「もの一つ我が世はかるきひさかな」(芭蕉)とは、漂泊の詩人といわれた芭蕉が、瓢箆ひょうたんでつくった瓢ひょうたん一つを携えて旅に出る、旅人としての自分の身軽さを詠った句。その瓢には、米を入れていたといわれていますが、その重さを感じるほど米が入っていたことはなかったそうです。飄々と彷徨する自分の身の上と、瓢の軽さを重ね合わせていたのかもしれない。

ウリ科でユウガオの一種の瓢箆は、縄文時代から使われていたとされる栽培植物。熟した果実の果肉と種を除いたものが、瓢などの容器として古くから使われてきました。乾燥して磨くと堅牢になり、栓をすると密封性も増すことから、水のほかに酒や塩、米などを貯蔵したり、種子や薬の保存容器としても活用されました。

この瓢箆からつくる密封容器のように、住友ベークライトの「スミライト」<sup>®</sup>VSS、NS、VSL、FCLシリーズは、米国食品医薬品局(FDA)規格に適合する製品として、厳密な管理の下に生産された、防湿、遮断などさまざまな機能を持つ、医薬品用PTP包装材料です。



国立国会図書館蔵



スミライト<sup>®</sup>  
VSS・NS・VSL・FCL

プラスチックのパイオニア  
**住友ベークライト株式会社**

フィルム・シート営業本部

〒140-0002 東京都品川区東品川二丁目5番8号 天王洲パークサイドビル  
TEL:03-5462-4111 FAX:03-5462-4873 <https://www.sumibe.co.jp>

